

組合を語り、新しい仲間をふやしたい

堺市水道労働組合執行委員長
大阪自治労連公営企業評議会 事務局長

えはら 江原 太郎さん
(水道部水道サービスセンター)



昨年の大会で大阪自治労連公営企業評議会の事務局長に就任。堺市水労労働組合の執行委員長を務める江原さん取材しました。

私の父はトラック運転手でした。生活も大変なので就職したくて和歌山高専で土木を学びました。堺市に就職しましたが、同級生でゼネコンに就職した人も多く、思ったより給料が安いなと思いました(笑)。

就職の翌年に大震災 西宮市へ給水活動

就職の翌年に阪神・淡路大震災が起こりました。西宮に2トントタンク車で給水支援に行きました。堺市内も被害がありました。復旧は早かったです。職場は水道サービスセンターです。漏水調査、施設の維持管理、修繕、水道管の更新など約50人の大所帯です。私は「すいちゃんのビックリじやくち」(ベンチ型の給水設備)の担当です。HPで見てください。

青年部ではよく遊びましたよ 職場委員として要求運動も

労働組合との出会いは青年部スキューです。北海道や信州などへよく行きました。親睦、レクリエーション、交流、よく遊びましたね。

職場委員もしていたので、職場要求運動も「すんなりと」行きました。支部では書記次長、専従で書記長2年、非専従で書記長7年と活動。全国公営企業評議会の幹事もしています。

職場は人員不足で大変 組合の仕事は役員で分担

書記長は専従だったので、なんでもやりました。その後、非専従になり、以前のようにはできないので、副委員長や他の役員に仕事を任せながら、みんな

で分担してもらおうようにしました。仕事も組合役員もやる。職場も人手不足で両方するのは大変です。

公営企業にはいろいろな運動があります。近畿水問題研究会や水道の民営化反対の取り組み、全国政令市の水道労組の集まり、そこには自治労、全水道、自治労連公企評が集まりました。

家族を大切にしたい そして組合の後継者づくり

大切なのは家族のことかな。家庭を大事にすることで組合活動もできる。あとは、組合の後継者を育てることです。

今、新型コロナ禍でつながりがつくれない。だから、新規採用者にも、これまで経験してきた楽しい組合の取り組みを話して、仲間をふやしたいです。



さあ、現場へ出動!

2021 夏季闘争



いのちを守るキャンペーン宣伝 (4月20日、近鉄・瓢箪山)

21夏季闘争で大阪自治労連は府民のいのちを守る行政の責任を果たすことを求め、看護師や保健師の増員、支援金給付などコロナ対応に必要な体制確保、自治体労働者の安全確保など、府・市町村に対して緊急要求運動を取り組みます。また、「いのち署名」を職場・組合員の手で助け、コロナ対策より政治日程を優先する国に対して働きかけを強化します。



有田 洋明
第92回大阪メーデー実行委員会副実行委員長
大阪自治労連執行委員長

夏季要求交渉では、すべての自治体労働者の賃金権利向上をめざし、会計年度任用職員制度や、公務員の定年年齢引き上げ法案など、重要な課題について取り上げます。(2・3面に関連記事)

依然として続くコロナ危機

府民の命を救う 対策をただちに!